

ースウェーデンの脳損傷者福祉事情視察報告会、12月6日に開催

～目次～

1. TKK活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動
4. TKK役員より

【1】TKK活動

**

●運営委員会等

- ・役員会、10月7日夜、世田谷ボラセン
11月より実施の家族相談交流会、12月実施のスウェーデン福祉事情視察報告会及び
21年2月実施予定のボランティア（支援者）養成講座—5についての企画内容検討
- ・相談支援のための研修会、10月29日午後、VIVID事務所

●ボランティア（支援者）養成講座 _4 「成年後見制度を使いこなそう」

9月27日（日）、日本青年館

参加者の内、約4割が福祉関係者で、この制度についての期待、関心の高さがうかがえ
ました。内容については約70%の方から、「大変良かった」「良かった」の評価を頂
きましたが、説明が多岐にわたり判りにくかったとの声もあり、今後の課題とさせて
いただきます。

●家族相談交流会、11月4日午後、都身障

2名の方が参加され、TKK相談員3名とお話ししました。

○来年3月まで毎月1回開催しますので、この場をご活用ください。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=3

6

○スウェーデンの脳損傷者福祉事情視察報告会を12月6日に開催します

本年5月に当協議会の企画で実施しました、スウェーデン脳損傷者の福祉事情を視察
するための研修ツアーの報告会を、12月6日（日）午後、日本財団（虎ノ門）で開催
いたしますので、是非、ご参加ください。

湯元健治氏から経済成長と高福祉、両立は可能か等の観点から、「社会」の在り方に
ついてのご意見を拝聴します

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=3

【2】関連団体等の活動

**

●当事者も家族も大いに語った ―サークルエコーの山梨合宿―

==== サークルエコーは、10月17日～18日、恒例の合宿を山梨県の富士吉田青年の家で行いました。1日目は、「大いに語ろう会」。これは昨年の10周年記念行事に続く第2回目です。当事者活動と多彩な参加者&家族の研修の会場を確保し、同時に開催するのがサークルエコーのつどいの特徴です。

家族らが、世田谷のケアセンターふらっと施設長・和田敏子氏の講座、続いて、全国障害者生活支援研究会会長・赤塚光子氏のコーディネートによる「住まい・暮らしについて」の個人発表やグループ討議などを行っているとき、当事者たちは大広間で、福島誠氏やサーポーターたちと、「自分たちの住まいについて語ろう会」などを開き、大いに盛り上がりました。普段は自主的な発言はあまりみられない人も多いエコーの当事者たちの「語ろう会」、しかし、合宿での実態は.....

その模様は、サークルエコーの会報38号ならびにホームページ

<http://www.circle-echo.com> に掲載します。

なお本年度の語ろう会は、TKKの相談支援事業の一環として行いました。

サークルエコー10周年記念誌発刊「伝えたいこと そして明日のために」

昨年、設立10周年記念行事を行ったサークルエコーは、その報告と10年の記録をまとめた、10周年記念誌「伝えたいこと そして明日のために」をこのほど発刊し、関係機関・団体等に配布いたしました。

サークルエコーは、当事者活動とともに、重度の高次脳機能障害者のアドボカシー活動に力をいれてきましたが、記念誌は、当事者・家族の声や行政交渉の歴史などを写真や記録で迎える構成にしています。多くの方にお読みいただければ幸甚に存じます。頒布価格300円。お申し込みはサークルエコー・HPまたは03-3430-8937

(田辺) まで

==== 田辺 (記)

○高次脳機能障害 家族会 かつしか主催、11月21日午後、ウエルピア1階

「生命保険・保険請求の仕方」社労士・オフィスアールワン所長 _ 澤留美子氏

○調布ドリーム主催、「ドリームサロン」、11月22日午後、調布市福祉センター2階

講演「高次脳機能障害を理解する～脳のリハビリ～」帝京平成大学教授中島恵子氏
当事者発表他

【3】行政等の活動

**

●東京都高次脳機能障害専門的リハビリ充実のための検討委員会

21年度第1回、9月28日夜、都庁

議事：

- ・開会挨拶、東京都中村課長、都身障芦田部長
- ・委員長に渡邊修氏、委員長代理に広實真弓氏が指名された
- ・専門的リハビリ充実のための検討委員会の設置趣旨と検討事項について
18年度ニーズ調査、19年度実態調査より、希望が多かった専門的リハビリについて調査、検討することになった
- ・リハビリ実施状況調査（一次調査）の結果報告
- ・リハビリ充実に向けた充実策（方向性）について
- ・リハビリ実施状況の聞き取り調査（二次調査）実施計画について
- ・今後のスケジュール（予定）
アンケート配付（8～9月）、数回の検討委員会および聞き取り調査を経て、報告書を3月に作成

なおTKKからは委員として今井副理事長、オブザーバーとして細見理事長、太田・細見の両理事が参加しました。

●高次脳機能障害者相談支援研修会ー21年度第2回、10月21日、社会福祉保健医療研修センター

- ・記憶障害の基礎知識とリハビリテーション：慶応大学医学部 辻井医師
- ・記憶障害者の生活支援
 - ①メモリーノートの活用法について：上野氏（都身障）
 - ②生活管理の支援について：松村氏（都身障）

=====都の相談支援体制連携調整委員会副座長を務める辻井医師は、高次脳機能障害全般と記憶障害について、要点をコンパクトに説明された。上野氏は高次脳機能障害で多く発症し、生活上大きな困難を伴う記憶障害の補助手段について、松村氏は都身障が実施している入所型支援の概要及びスケジュール・外出管理の為の訓練について説明された。

300名近い参加者が熱心に聞き入る姿を心強く感じました。==== 矢野（記）

●平成21年度「高次脳機能障害者に対する地域生活支援の推進に関する研究」
関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議

10月22日午後、コンベンションルームAP西新宿

- ・開会挨拶：埼玉リハ 大村相談部長、上小鶴センター長
- ・基調講演「高次脳機能障害者に対する地域生活支援の今後の展開について」
国リハ学院長 中島八十一氏
- ・報告「小児高次脳機能障害者支援セミナーを開催して」
千葉リハ地域連携部長 太田令子氏
- ・議題
各県の事業進捗状況及び拠点機関未設置県への支援について
支援拠点機関未設置、検討中の県は、栃木、群馬、新潟、山梨

・その他、連絡事項

東京都の家族会の代表として、細見理事長がTKKの昨年及び今年度事業について述べ、具体的な活動内容を報告しました。

息子がお世話になっている調布ドリームで、東京都心身障害者福祉センター（都身障）自立支援課ソーシャルワーカー、中村哲治氏のお話を聞く機会がありました。中村氏は高次脳機能障害者が訓練で都身障に入所する時、挨拶でこう言って激励するそうです。「皆さんは何も怖いものはない。既に生死をさまよい、そして今ここに生きているから！」

確かに、事故、病気で高次脳機能障害を背負ってしまった当事者、特に重い障害を抱える方の多くは、生死をさまよって生還された方です。しかし家族、近親者にとって、生還した喜びもつかの間、暫くして、何かおかしい、元の本人とは違う、と感じる事態が生じます。高次脳機能障害が今日ほど世の中に認知されていない時代には、そういう状況を理解するのは非常に困難であつたろうと推察します。

- ・次の（回復期）病院を探して下さい？
- ・リハビリ、PT, OT, ST、180日問題？
- ・高次脳機能障害？
- ・障害者手帳の取得？

等々、全く勝手が解からない世界で、今まで知らなかった用語が次々と現れます。この先、本人がどうなるのか、また生活を支える方が発症した場合の経済的問題など、困惑、困窮する状況に陥ります。

患者同士の情報交換、病院のソーシャルワーカー等と相談したり、またネットで調べたりしてこの先どうすべきかを模索しているのが実情ではないでしょうか。

こんな時、家族会に出会えれば、皆さんの経験をお聞きすることができ、またアドバイスが得られるでしょう。突然、障害者を持つ、という初めての経験、困難の中、我が家の場合も随分助けて頂きました。同じ障害で困っている方のお役に立ちたいという思いで、各家族会が設立され運営されているのだと思います。

TKKは各家族会が単独では手掛けられない活動、事業を推進するために、2007年末にNPO法人として再発足し約2年が経過しました。この間、シンポジウム、各種講座を開催、また今年はスウェーデン研修、相談会開催と、活動の幅を大きく広げてきました。

これらの活動、事業は会員の皆様のご協力のもとより、団体各位のご支援によって実現することが可能になりました。日本財団様をはじめ麒麟福祉財団様、オラクル有志の会ボランティア基金様、損保ジャパン記念財団様、ヤマト福祉財団様、昭和池田記念財団様のご支援によってTKKの活動が支えられている、という事を改めて認識する必要があると思います。

TKKとして活動すべきこと、活動したいこと、また期待されていることはまだまだあります。そのためにも会員の皆様および団体各位、また高次脳機能障害およびリハビリについて研究、実践されている各界有識者のご協力、ご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

以上